

標準化セミナー実施報告

対象	一般市民																																														
開催日時	2025年1月18日(土) 13:00~15:30																																														
開催場所・方法	かごしま国際交流センター 研修室2 対面方式																																														
参加者数	全 17名(参加者一般11名 NACS2名 スタッフNACS4名)																																														
テーマ	消費者視点で『標準化』を考える in 鹿児島																																														
配布資料	標準化について(概論) 添付資料																																														
プログラム	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">時間</th> <th style="width: 40%;">内容</th> <th style="width: 15%;">担当</th> <th style="width: 35%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>司会進行</td> <td>藤崎</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13:00</td> <td>開催挨拶 5分</td> <td>棟居</td> <td>スタッフ紹介</td> </tr> <tr> <td>13:05</td> <td>チェックイン(アイズプレイク) 15分</td> <td>棟居</td> <td>①自己紹介 ペアになって、この研修に期待すること 2分(人) ②他己紹介 自己紹介相手をみんなに紹介 30秒 ③ワークショップのネライ 棟居 5分</td> </tr> <tr> <td>13:20</td> <td>第一部 40分</td> <td>明</td> <td>「標準化について(概論)」</td> </tr> <tr> <td>14:00</td> <td>第2部グループワーク説明</td> <td>藤崎</td> <td>・席替え(ワークしやすいように席を付ける) ・進め方の説明</td> </tr> <tr> <td>14:05</td> <td>グループワーク 40分</td> <td></td> <td>各グループ内での役割分担決定 付箋に自由に書いてみる(7分) 自分の意見を発表する(10分) 同じ内容の付箋をグループ分けしながら、発表準備をする(15分)</td> </tr> <tr> <td>14:45</td> <td>発表 10分</td> <td>藤崎</td> <td>各グループ3分程度で発表 (3分×3グループ、予備1分=10分)</td> </tr> <tr> <td>14:55</td> <td>チェックアウト 20分</td> <td>棟居</td> <td>①研修に期待したことの棚卸しと、明日からでもやってみたいこと(振り返る) ②セミナーで学んだ自分が貢献した社会の未来を想像する 20分</td> </tr> <tr> <td>15:15</td> <td>主催者挨拶 5分</td> <td>棟居</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15:20</td> <td>終了</td> <td></td> <td>アンケート終了後解散</td> </tr> </tbody> </table>			時間	内容	担当	備考		司会進行	藤崎		13:00	開催挨拶 5分	棟居	スタッフ紹介	13:05	チェックイン(アイズプレイク) 15分	棟居	①自己紹介 ペアになって、この研修に期待すること 2分(人) ②他己紹介 自己紹介相手をみんなに紹介 30秒 ③ワークショップのネライ 棟居 5分	13:20	第一部 40分	明	「標準化について(概論)」	14:00	第2部グループワーク説明	藤崎	・席替え(ワークしやすいように席を付ける) ・進め方の説明	14:05	グループワーク 40分		各グループ内での役割分担決定 付箋に自由に書いてみる(7分) 自分の意見を発表する(10分) 同じ内容の付箋をグループ分けしながら、発表準備をする(15分)	14:45	発表 10分	藤崎	各グループ3分程度で発表 (3分×3グループ、予備1分=10分)	14:55	チェックアウト 20分	棟居	①研修に期待したことの棚卸しと、明日からでもやってみたいこと(振り返る) ②セミナーで学んだ自分が貢献した社会の未来を想像する 20分	15:15	主催者挨拶 5分	棟居		15:20	終了		アンケート終了後解散
時間	内容	担当	備考																																												
	司会進行	藤崎																																													
13:00	開催挨拶 5分	棟居	スタッフ紹介																																												
13:05	チェックイン(アイズプレイク) 15分	棟居	①自己紹介 ペアになって、この研修に期待すること 2分(人) ②他己紹介 自己紹介相手をみんなに紹介 30秒 ③ワークショップのネライ 棟居 5分																																												
13:20	第一部 40分	明	「標準化について(概論)」																																												
14:00	第2部グループワーク説明	藤崎	・席替え(ワークしやすいように席を付ける) ・進め方の説明																																												
14:05	グループワーク 40分		各グループ内での役割分担決定 付箋に自由に書いてみる(7分) 自分の意見を発表する(10分) 同じ内容の付箋をグループ分けしながら、発表準備をする(15分)																																												
14:45	発表 10分	藤崎	各グループ3分程度で発表 (3分×3グループ、予備1分=10分)																																												
14:55	チェックアウト 20分	棟居	①研修に期待したことの棚卸しと、明日からでもやってみたいこと(振り返る) ②セミナーで学んだ自分が貢献した社会の未来を想像する 20分																																												
15:15	主催者挨拶 5分	棟居																																													
15:20	終了		アンケート終了後解散																																												
アンケート結果	<p>13名の回答がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■本日のセミナーに参加していかがでしたか。に対して 全員が「とても良かった」「良かった」と回答してもらいました。 ■グループワークで十分に発言できましたか。に対して 11名は「十分できた」「できた」だったが、 2名の方があまりできなかったとあり、進行の工夫の必要性を感じました。 ■標準化について知っていましたか。に対して 																																														

	<p>「全く知らない」、「あまり知らない」等が7名おられて、一般参加者だったからと思われます。</p> <p>■標準化について理解、関心は深まりましたか。に対してすべての方が深まったと回答貰いました。</p> <p>一般に方の標準化の認識が少ないことを改めて認識できました。その中、全体的には、標準化について理解、関心が進んだと思います。</p>
<p>標準化のタ ネ</p>	<p>A 班</p> <p>手続き・銀行で印鑑レスなはずなのに、解約手続きには印鑑が必要</p> <p>銀行口座開設する際は、手続きはネットなどでも行えるし印鑑は要らないのに、解約手続きの際は、印鑑が必要になる。銀行手続きに際して、印鑑レスに簡略化すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解約手続き（条件）が難解。 ・住所変更などの手続きのワンストップ化 <p>引越しする際など、様々な手続きを行う必要があり、その都度住宅などの記載が必要だが、マイナンバーを提出することで手続きを完了できるようになれば良い。</p> <p>IT</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車・バスの支払いを共通 IC カードで。 ・充電器のタイプなどを一つにしてほしい ・病院や薬局で個人情報を受付で紙に書くのは何故。 <p>マイナンバーを提出することで記載省略できるよう統一してほしい。</p> <p>規格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除機の紙パック（メーカー・機種で違う） ・畳の広さが違う 都会と田舎では一畳の畳サイズが違うので、統一すべき。 ・服のサイズ S/M/L で実際には違いがある。 <p>同じサイズ表記でもお店ごとに着用したサイズ感が違うので、サイズごとに寸法を統一すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルの蓋のサイズが違う。 ・添加物の規格の統一・簡素化 ・マスクのサイズ ・スマホのサイズ <p>表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お値段一つにして（消費税の表示） ・ガソリンスタンドの料金がわかりにくい。税込み？非表示？ <p>B 班</p> <p>食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルの大きさ・形 ペットボトルケースが一種類で済む。 ・ペットボトルの大きさ・形が同じであれば リユースしやすい。 ・食品の期限表示の位置 <p>衣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シートと布団カバーの違いが分かりにくい ・制服のボタン ・スーツとズボンの洗濯表示タグの位置 ・靴のサイズ

- OA
 - ・パソコンキーボード
 - ・ACアダプターのボッコリ
 - ・アンドロイド・iPhone・充電器の充電口の統一化
 - ・カセットの抜き差しが大変
- 文具
 - ・マーカーのカートリッジの規格
 - ・修正テープの本体とカートリッジを統一して欲しい
 - ・インクカートリッジ
 - ・たまにゲームのボタンを押しても、電源切っても、きかない
 - ・ゲームのエラー（特にマイク）
- 移動
 - ・駐車場の料金表示
 - ・バックモニターの標準装備
 - ・エレベーターボタンの位置
- 生活
 - ・セルフレジ
 - ・ごみ捨てルール
 - ・バーコードの位置
 - ・トイレの自動排水
 - ・トイレボタン
 - ・値段 上、下どっちかわからない。
- 他
 - ・表示のコントラスト
 - ・売ってある場所が変わる。
 - ・同じ商品でもお店によって値段が違う。
 - ・ポケモンカードがある店で、新しいパックがある店とない店がある。
 - ・ドームの広さ

C班





- 表示
 - ・アルコールかノンアルコールか表示がわかりにくい
 - ・食品の期限の記載場所を一定にしてほしい。
 - ・個別包装の色表示 透明な放送
 - ・カーナビの地図表記
- 労働行政・高校新卒者の職業（就職規定）選択を自由化する。
 - ・求人募集広告の厳格化（取り締まり）
- 金融
 - ・公共個通の支払いを統一する。
 - ・デビットカードのタッチ決裁
 - ・〇〇ペイがありすぎ
- メーカー規格・スクリーンショットの操作
 - ・電子音の意味
 - ・プリンターのインク
 - ・ファンデーションのケースは、詰替え用が入るようにしてほしい。
- 男女協働・男性が授乳室を使ってよいか 統一してほしい
- 社会的マナー

	<ul style="list-style-type: none"> ・会場に入ったら自動的に携帯電話の電源がオフになるシステムの開発 ・ごみの分別が地域によって違う。
<p>担当者所感</p>	<p>昨年度は2つのセミナーを開きました。一つは佐賀の消費者団体が主催するセミナーで、一昨年に養成した福岡佐賀の標準化リーダー会員がファシリテーターを務めた「外部セミナー」、もう一つは、同じく一昨年養成の鹿児島宮崎のリーダー会員と一般会員に鹿児島市民も加わったハイブリッドな「セミナー」で、既出ネタの検証を机上とフィールドワークで実施しながら、新規の参加者への標準化セミナーと共に新たなタネも探すワークショップでした。今年度は当初予定した他分科会からなかなか手が上がらなかったため、鹿児島で且つ一般公募で外部セミナーを開催しました。新聞等いろんなメディアで募集をしたが集客には困難を極め、日産協から1名、ピーティックス（事務局）から1名でした。外部セミナーの集客の難しさを感じました。また、講義とグループワークの前後に、これまでもやっていたアイスブレイクや振り返りの手法を、棟居副支部長による本格的なチェックイン・チェックアウトとして、セミナーが効果的になるような工夫を試してみました。参加者からも好評で内容はとてもよかったですと思います。</p> <p>今回一部のスタッフからタネ探しでアイデアは出すが、それがどのように検討されるか検証をする場を作って、今回の参加者にフィードバックをしたいとのアイデアが出ました。来年度は今回と過去2年間のアイデアを活用して 絞り込んだセミナーにできればと考えています。どのようにするかは、全くの未定ですが。過去に出たアイデアを提示して、それ以外にするとか、分野を絞り込むとか、ひと工夫を検討中です。</p> <p>また、次年度に向けて、本部津島様のご縁などもあり、これまで九州ではやってこなかった大学（長崎県立大学様）でのセミナーの開催を検討・現在交渉中です。かなり遠方かつ、現在大学から提示されているのが二つの離れたキャンパスの教室を繋ぐ講義枠なので、会員ファシリテーターがどれくらい手当てできるかという課題はありますが、工夫しながら実施実現に向けて交渉を継続します。</p>

【進行表】

テーマ：消費者視点で『標準化』を考える in 鹿児島

日時：2025年 1月 18日（土）13:00～15:30

目標	所要時間	内容	備考	準備
主旨の理解	5分	開会のあいさつ 	棟居さん	進行表、スタッフ紹介はパワーポイントで表示
お互いを知り、アイスブレイク	15分	自己紹介 他己紹介 セミナーで期待すること	棟居さん	あだ名記載用の名札
標準化の必要性を理解	40分	『標準化について（概説）』をテキストに講義	明さん	PPT 印刷資料
グループワークの進め方の理解	5分	グループワークの注意事項を説明	藤崎 	PPT
標準化のタネを探す	40分	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者と書記を決める。 ・各自でアイデアを付箋紙に書く。 ・各自のアイデアを説明。 ・同じものをまとめて 題を付ける。 		付箋紙
発表し、互いのアイデアに気づく	10分	グループの発表者が、グループで出たアイデアを発表する。		
セミナーで学んだ自分が貢献した社会の未来を想像する。	20分	チェックアウト 5年後の世界や自分を画用紙にクレヨンで描き、グループ内で発表をする。	棟居さん	画用紙、クレヨン

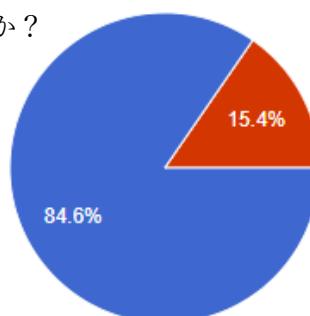
【アンケート集計】

回答数： 13枚

男性：6名 女性：7名	所属	下記参照
会員：2名・非会員；11名	年代	下記参照

問1 本日のセミナーに参加していかがでしたか？

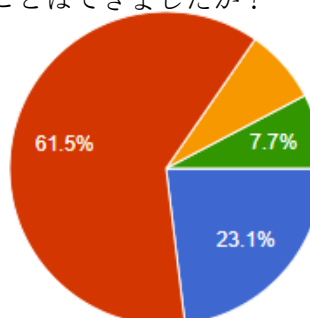
1. とても良かった (11)
2. 良かった (2)
3. あまり良くなかった (0)
4. 非常に良くなかった (0)



- とても良かった
- 良かった
- どちらでもない
- あまり良くなかった
- 非常に良くなかった

問2 グループワークにおいて十分に発言することはできましたか？

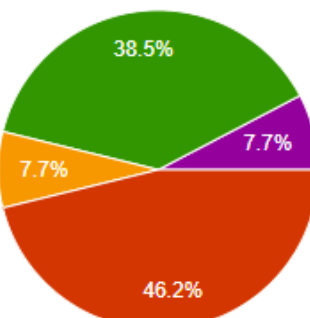
1. 十分できた (3)
2. できた (8)
3. あまりできなかった (1)
4. 全くできなかった (0)



- 十分できた
- できた
- どちらでもない
- あまりできなかった
- 全くできなかった

問3 標準化について知っていましたか？

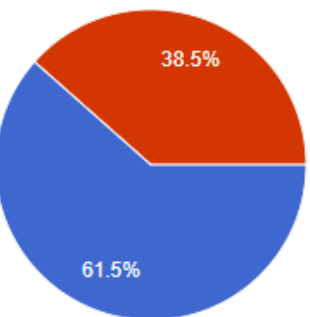
1. 良く知っていた (0)
2. ある程度知っていた (6)
2. あまり知らなかった (5)
3. 全く知らなかった (1)



- よく知っていた
- ある程度知っていた
- どちらでもない
- あまり知らなかった
- 全く知らなかった

問4 標準化について理解は深まりましたか？

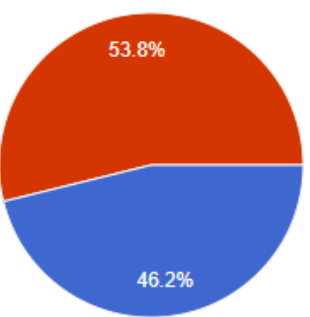
1. とても深まった (8)
2. 深まった (5)
3. あまり深まらなかった(0)
4. 全く深まらなかった (0)



- とても深まった
- 深まった
- どちらでもない
- あまり深まらなかった
- 全く深まらなかった

問5 標準化について関心が高まりましたか？

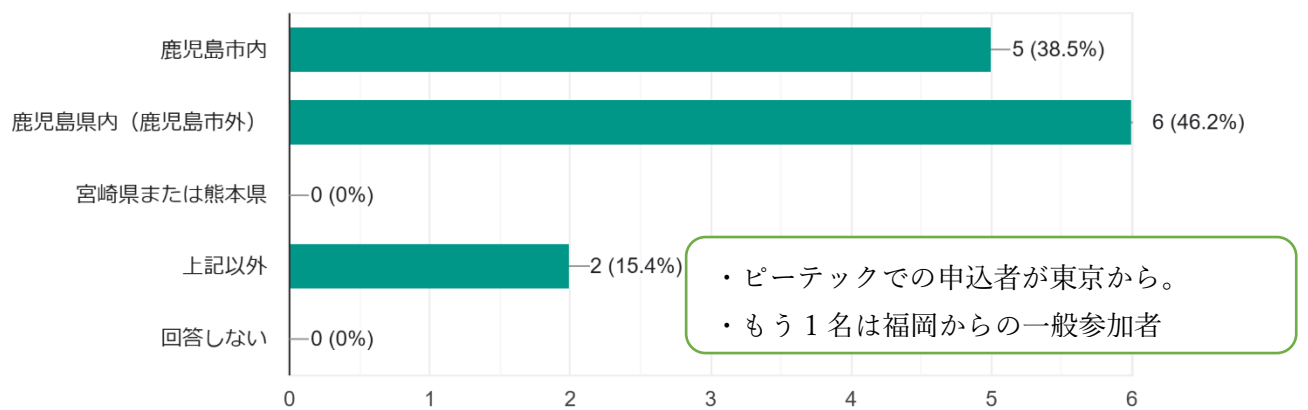
1. とても高まった (6)
2. 高まった (7)
3. あまり高まらなかった(0)
4. 全く高まらなかった (0)



- とても高まった
- 高まった
- どちらでもない
- あまり高まらなかった
- 全く高まらなかった

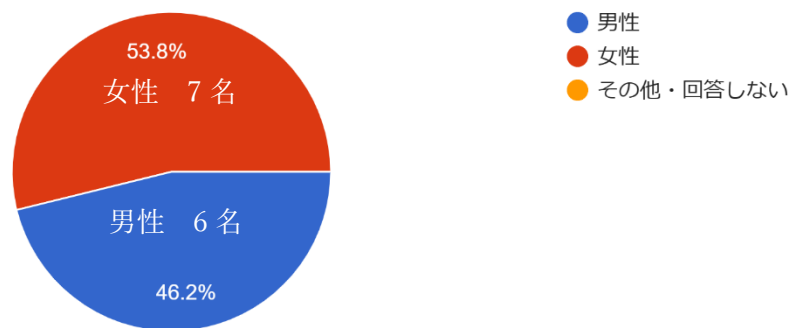
10. お住まいの都道府県を教えてください

13件の回答



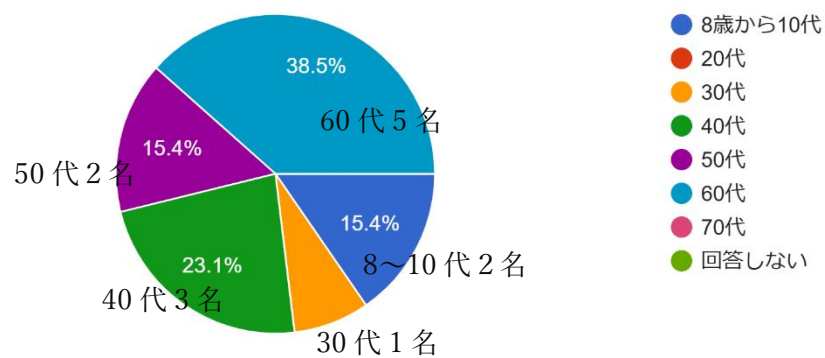
11. 性別

13件の回答



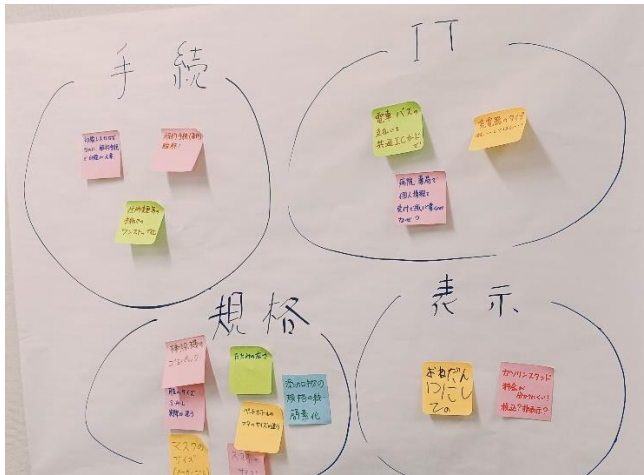
12. 年代を教えてください。

13件の回答



【セミナーによる成果物】

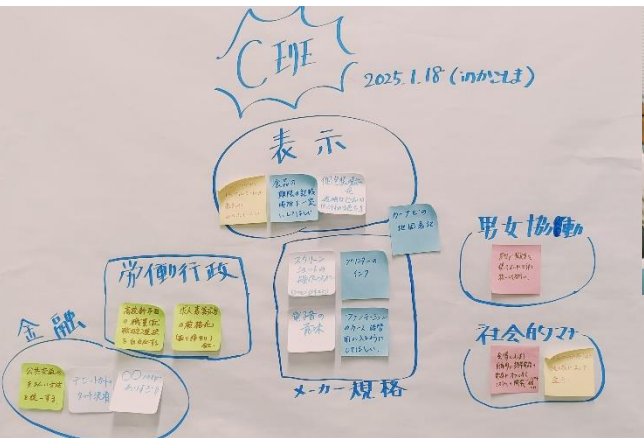
グループ発表の資料や発言内容の記録、写真など



A 班のアイデアと発表



B 班のアイデアと発表



C 班のアイデアと発表



NACS九州支部 標準化リーダー会議主催 公開講座

「消費者視点で『標準化』を考える」 in 鹿児島

- ・もし、トイレットペーパーが『標準化』されてなかったら――。
- ・トイレットペーパーを買いに行き、**たくさんの種類**から一つ選んで買ってきました。
- ・しかし、『**自宅のトイレに合わない**』なんてことはないですよね。なぜでしょう。 それはセミナーで。



スマホケーブルの規格で『USB』がありますが、どのスマホにも使えます。それは形状や仕様が**標準化**され、規格化されたためです。

『標準化』と聞くと**企業が取り組む内容**のように思いますが、安全や安心の為に、**消費者の視点**から標準化を進めていく事が必要になってきています。

今回は そのきっかけとして頂けるセミナーを**鹿児島**で開催させて頂きます。



標準化ってなに? という方も、もっと深堀したい! という方も、一緒に学習をしましょう

多くの方のご参加をお待ちしております。

消費者視点で 「標準化」を考える

【日時】2025年1月18日(土) 13:00~15:30

【場所】かごしま国際交流センター 研修室2 鹿児島市加治屋町19-18

【開催方法】対面開催講座

【内容】■チェックイン (アイスブレイク) 自己紹介、他己紹介、ワークショップの狙い

第1部「消費者目線での標準化の必要性について」

- ・日常生活の中の標準化 ・これからの標準化
- ・『標準化』のために出来ること

第2部 ワークショップ(標準化のタネのアイデア出し)

- ・グループでアイデアを出し合い、標準化の必要性への気づき

■チェックアウト 研修に期待した事の棚卸、振り返り、未来への想像

【講師】NACS九州支部 標準化リーダー 消費生活アドバイザー 棟居秀信 消費生活アドバイザー 明知孝

消費生活アドバイザー 藤崎達也 消費生活アドバイザー 松山陽子 他【募集中】

【定員】20名(一般)

【参加費】無料 (経済産業省委託事業)

【申込】下記Googleフォームより申込ください。

また、ご質問があればGoogleフォームで記載ください。

[標準化セミナーお申込み](#)

【締切】2025年1月10日(金)



【講義資料】

2024年度 九州支部 標準化セミナー



経済産業省委託事業

標準化について(概説)

2025年1月18日
公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)
明 知孝(鹿児島分会)

NACS (ナックス)

Japanese Association of Consumer Specialists

公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会

- 設立 1988年6月(通商産業省認可)
目的 消費者利益と企業活動の調和を図り、社会に貢献する
理念 「持続可能な消費生活」の実現に向けて、公益に資する活動に取り組む
3柱 ① 消費者トラブルの解決
② 消費者教育
③ 行政、企業、消費者団体等との連携
会員 消費生活アドバイザー等の資格を有する者で構成(全国に7つの支部)

昨年11月20日にコーポレートカラーを変更しました!



【余談】11月20日は何の日?

- 1884(明治17)年 商業学校則の制定
1890(明治23)年 帝国ホテル開業
1942(昭和17)年 バイデンくん出生
1947(昭和22)年 株式会社丸福が設立
1961(昭和36)年 行政相談委員の設置

標準化の定義(経済産業省HPより)

「もの」や「事柄」の単純化、秩序化、試験・評価方法の統一により、製品やサービスの互換性・品質・性能・安全性の確保、利便性を向上するもの。

標準化とは(AI)

一定のメンバーの合意を得て、規格(仕様書)を制定し、その規格を普及させること。

※統一、画一(マイナ保険証も?)

身の回りにある標準化にまつわるもの



【考察】

もしも・・・

標準化の概念がなかったら・・・

(例) トイレットペーパー



トイレットペーパーがなくなったから買わなきゃ



これかなあ

いろいろあるけどうちのにはどれが合うのかしら??



ガーン!

横が長くてホルダーに入らない



マジかよお



【検証】

消費生活（日常）の場面で

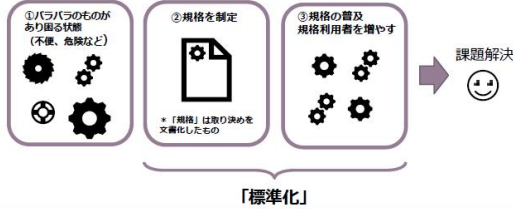
こんな事態にならないために・・・

JIS P 4501
トイレトーパー
形状や寸法を規格化

これで
オッケー



バラバラでは困る状態を統一化していく



日本国が定める規格
(国家規格)



国際標準化機関が定める規格
(国際規格)



「消費者の視点」で標準化の提案ができます



生活（くらし）
の困りごとを考えよう

皆様の身の回りにおいて「不便なこと」・
「危ないこと」・「こうなってほしいこと」
ありませんか？

本日ご参加の皆様にもお考えをいただき
まして、消費者目線で「日常に感じている
不便」などを取り上げていただきたいと思
います！

思いつかない方も、他の方の意見から学
べる時間になりますので、よろしくお願
いいたします。

うん
ある、ある



みんなで考えてみた

身の周りの「不便なこと」「危険なこと」「こうなってほしいこと」



今よりも
もっと
安心して暮らせる
日々を

子どもたちの
未来に向けて
持続可能な
社会の実現を

ありがとうございました

参考

<https://www.youtube.com/watch?v=AaQAEFasgd4>

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
標準化委員会 庶務事務局 動画制作グループ 制作
イラスト協力：MAR-chan

アンケートのご協力をお願いします。
下記QRコードより1/20(月)まで。

